

ずいひつ No.113



2015年9月25日発行

書店の裏側その2 夏商戦 某海賊王の話

猛暑が終わり、秋の入り口に長雨が続いてますね。暑さが恋しいという方もいるのでは？今回は連載開始から20年近く経ってもまだまだ海賊王を目指しているあの彼の漫画にもまつわる夏商戦のお話です。

いかに目立たせるか！？

夏商戦…それは書店員にとって、クリスマスに次ぐ繁忙期と言っても過言ではありません。大手3出版社の夏の文庫フェアの為に特設コーナーや島台を作り、ボリュームを持たせて陳列するだけでなく、各社から送られてくるPOPで華やかに飾り付けをします。売れ行きをチェックし、在庫が少なくなってきたものには即注文をかける！飾り付け次第で売れ行きも変わってくるので毎年悩みどころです。「買うと必ずもらえる！」という類のノベルティも各社分あるので渡し忘れやしないかと、結構気を使うものです。学生向けの問題集のセットなどが売れる時期でもあるので、この時期の書店には所狭しと商品が並んでいるはずですよ。

そしてコミックの目玉が何と言っても某海賊王！なんと来月には歌舞伎の世界にも進出する某海賊王ですが、毎年飾り付けコンクールなるものが出版社主催でほぼ全国の書店を対象に行われています。コミックを美しく陳列し、出版社指定のPOPを飾り、店独自のPOP等で更に飾り付けし、写真を撮って応募する…！ひそかにこんなコンクールが行われていること、皆さんご存知でしたか？ちなみに過去3回ほど応募しましたが、入賞ならず…。全国の壁は厚いです！ちなみにこの「ナツコミ」というイベント、こちらでも毎年対象のコミックスお買い上げの方にはノベルティを差し上げています。



某海賊王とシュリンク

コミック1冊1冊にビニールが掛かっているのはご存知ですか？あのシュリンクと呼ばれるビニールをかけているのは他でもない書店員たちなのです。特に暑い季節はシュリンクをかけるだけで汗だくになるほどの高温です。某海賊王並みに連載が続くと、箱買いに備えて全巻分シュリンクをかけるなんてこともざらです。暑さにかまけてうっかりするとビニールが熱で破れてしまったり、本ごと焦がしてしまったり…トホホな結果になることもしばしばでした。

本屋と図書館、万引きと紛失

そんな手間暇をかけて掛けたシュリンク。店内で堂々と剥がして堂々と立ち読みする不届き者が居るのも事実です。店の道理に反する行為ですので絶対にやめて下さいね。図書館でも紛失図書が見つければその都度処理しています。「ちょっと持ってっちゃお！」「失くしても弁償すればいいや！」ではありません。お互いが気持ちよく、無駄な怒りやお金を使わない為にも図書は大切に扱いきましょう。元書店員より。



(犬より猫派司書)